

京都水宣言

地球温暖化対策に関して具体的な目標を定めた「京都議定書」が採択された地、この京都で第3回世界水フォーラムが開催されたことは、私たちの大きな喜びです。このフォーラムでは、様々な水問題が話し合われ、水でつながる世界の人々が、その解決に向けた行動に移ろうとしています。

地球上の健全な水の循環を守り、生きていくために必要な最低限の水が、全ての人々にとって等しく確保され、全ての生物の営みが永続できるよう、自然の摂理を乱すことのない生き方が求められていることをまず心にとどめたい。

水の汚染、生態系の破壊、洪水、旱魃、安全な飲料水の不足、不十分な衛生設備など、世界の各地で深刻化する水問題には、気候変動や生産活動等に起因するものや、それぞれの地域での社会文化、風土に根ざしたものがあります。

世界各地の様々な水問題の解決には、世界の人々と連帯し長期的な視野に立ち智慧を結集する取組みと、水の歴史や文化を共有している地域の人々が協働する取組みが求められる。私たちは、これらの二つの取組みをともに目指したい。

文明の歴史のなかで、本来切れ目のない水循環が様々に断ち切られ、水が汚され、無秩序に消費されてきたことを顧みる必要があります。未来の生命の生きる糧となる水を現在に生きる私たちが預かり利用していることを決して忘れてはなりません。

自然の水循環に則し、流域を総体として捉え、人類を含めた全ての生命がそのそれぞれの営みを持続できるよう高い志をもって、社会の規範を整えながら、流域に関わるあらゆる人々とともに行動していくことを、私たちは目指したい。

私たちは、千年を超える京都の歴史の中で水を慈しみ節度ある精神をもって活用しつつ、森や里に暮らし平地を拓きながら豊かな文化を育んできたことを誇りとしています。山紫水明の恵みに包まれながら培ってきたこの精神を清らかな水環境とともに次の世代に伝えていくことは私たちの使命です。

水でつながる世界の人々とともに歩みたい……この精神とともに

2003年 3月20日
第3回世界水フォーラム
推進京都実行委員会